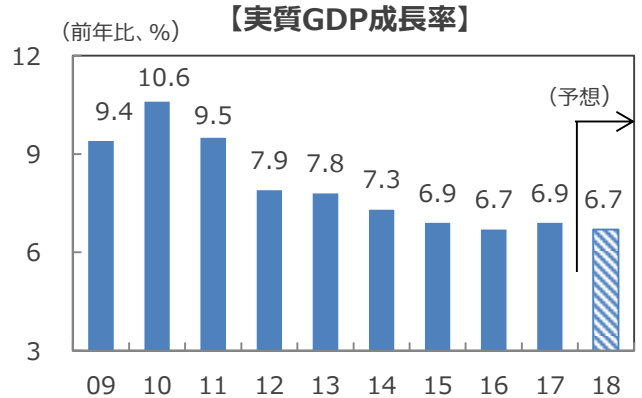


今日のトピック 成長が加速した中国経済（2018年1月）

17年の成長率は6.9%、7年ぶりに前年を上回る

ポイント1 17年のGDPは6.9%成長 7年ぶりに前年を上回る

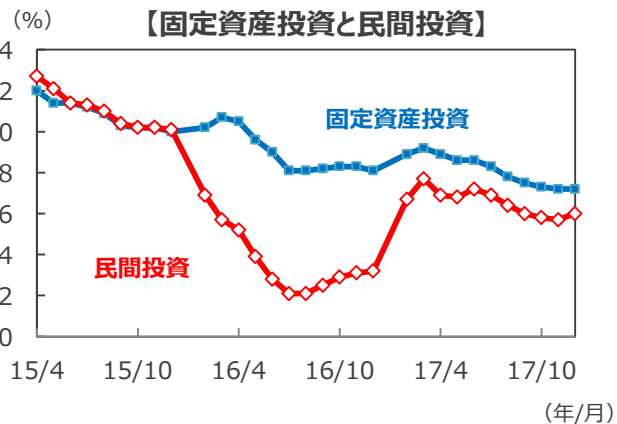
- 中国国家統計局は18日、主要経済指標を発表しました。17年10-12月期の実質GDP成長率は前年同期比+6.8%と、7-9月期から伸びが横ばいでした。この結果、17年の実質GDP成長率は前年比+6.9%となり、政府目標の「6.5%前後」を上回ると共に、7年ぶりに前年（同+6.7%）を上回り、成長が加速しました。



(注) データは2009年～2018年。2018年は弊社予想。 (年)
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 12月の生産、投資はしっかり 小売売上高は減速

- 17年1～12月の固定資産投資は前年同期比+7.2%と、1～11月から伸び率が横ばいでした。全体の約6割を占める民間投資は同+6.0%と、前月（同+5.7%）から加速しました。
- 12月の鉱工業生産は前年同月比+6.2%と、11月（同+6.1%）から伸び率が小幅に拡大しました。17年通年は前年比+6.6%でした。
- 一方、12月の小売売上高は同+9.4%と11月（同+10.2%）から減速しました。17年通年は前年比+10.2%と高水準でした。



(注) データは2015年4月～2017年12月、年初来累計の前年同期比。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 18年は情報技術産業が景気を下支えしよう

- 中国経済の成長率については、17年初の市場予想は前年比+6.5%でした（ブルームバーグ調べ）。+6.9%成長は予想を+0.4%上回ったことになり、中国経済の好調さがうかがわれます。
- 18年は、習近平指導部が企業債務の削減や環境規制の強化を進める方針を掲げる一方で、中央経済工作会議では質の高い経済成長を目指すことを決定しており、情報技術産業の高成長が景気の下支え要因として働くことが見込まれます。このため、中国経済は緩やかな減速にとどまる見通しです。弊社は18年の成長率を+6.7%と予想しています。

ここもチェック! 2017年12月22日 2018年中国経済の見通し 2017年12月14日 最近の指標から見る中国経済（2017年12月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。